

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大石田町地域おこし協力隊			代表者名	梶島一
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	まちづくり推進課	連絡先電話番号	090-4560-8745
担当者役職	会計年度任用職員	担当者氏名	梶島一	連絡先E-mail	
住所	999-4112 山形県大石田町緑町1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	ICT周遊型・高付加価値観光コンテンツ開発の支援事業
概要	ICTを活用した市内周遊型の観光体験商品（ご当地マörderミステリー）の企画開発支援		
支援を求める分野	地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月19日	支援・助言(実地)	9時00分	18時00分	60
				活動時間(分)	480
2-2. 派遣場所	会場名	KOE no KURA		最寄駅	大石田駅
	所在地	山形県北村山郡北村山郡大石田町駅前通り9-5		最寄駅からの交通手段	車又は徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったですか等詳細に)	2日目はメインの体験会を行ったが、その前に役場の職員との打ち合わせを行った。その際、事前に何度か私自身が伝えた時よりもより具体的なイメージをもって貰う説明や懸念点への回答などを的確に行って貰いかなり好印象を持ってもらうことが出来た。また、体験会含めて参加者がかなり質問攻めにした様子も誠実に応えて頂き、他の協力隊や地元の団体の代表の方などが具体的にどうしていくともっと良くなるか、導入できるかという先のイメージまで共有して貰えるようになり、交流としてもかなり効果を実感できた時間となったのは一概に細川氏の人柄・経験・知識・発想などによるものだと感じた。地方において受け入れてもらえるかどうか、協力的になって貰えるかどうかは最重要課題でもあるためそこへのアプローチに好感触を感じれた。
アドバイザーへの要望事項	要望事項は特にはないです。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	14人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	8	4	2	
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)				
	2日目に行った体験会での「マörderミステリー」は1番ベーシックなモノを用意して頂いた。ロジックを基に展開していけるというのをお聞きしていたので、まずは初めて触れるものへの理解をメインに基準となる「ボードゲーム型」で行った。問題点としては、時間がかかりすぎる、初対面だと気まずい、モノが多い、ルールへの理解に時間がかかるという意見が多かった。ゲームの体験時間はおよそ2時間30分ほどだった。また没入体験として、一か所で行う方がいいが、観光資源として活用するには周遊、移動を取り入れたいがその分没入感が薄れるといった意見も見受けられた。				

<p>支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>実際にアドバイザーに視察頂いたり、現地の方との意見を横で聞く中で若干それぞれが課題や解決したいと思う点に違いがあるように感じた。そういった点でも共有して同じ方向を向き、課題を解決するという点でもこの観光コンテンツはよい資源になると思う。また、IP活用することで国内外への認知の向上と実際に企画としての集客から経済効果まで臨めるという点も聞いた。その点で山形は漫画家の出身地でもあったり、将棋などもゆかりのある土地なのでその点をコンテンツにして他地域との差別化を図りたい。また「大石田AIR」という地域おこし協力隊が運営する文化事業団体がすでにあり、定期公演や国内外からアーティストを誘致しているのもあり、パフォーマンスも絡めた周遊型と、空き家を活用したゲストハウス運営の方と協力して宿泊型の二軸展開しているように仕手関係人口を創出していきたい。</p>	
<p>アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>1日目に町内の主要施設などの視察を行って貰い、歩いてコンパクトに周遊出来るという意見をまず貰った。また、繁忙期ではなく閑散期におけるコンテンツとして閑東園をメインに人を呼び込む流れを作ることが出来ると聞いた。こちらの観光における繁忙期は他地域と少し違い、夏と冬だったりするので、春や秋に行くのが良いかもしれない、それは他の地域と被りづらく取り組みやすいと手以南を頂いた。また、その時期は農家側から人材不足の時期に当てはまる部分もある為、農業体験もからめたり、他のイベント（大石田AIR公演）などを交えると、すでに演者がいる状態でもあるので地元のアーティストにも還元したり、手配もスムーズに行く点も利点だと評価された。</p>	
<p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>体験会ではもともと参加者全員未体験で、イメージが湧いておらず戸惑いが常にあった。実際に参加して貰ったり、見学の方から「ます面白い」と評価して貰った。その上で、導入にあたり課題となる点、時間や演出、地域との組み合わせ方などが意見としてポンポン出るようになった。1番個人的な収穫だと感じたのは、山形を中心に活動する劇団の代表にも参加して貰い、演者が必要な場合は協力を惜しまないという言葉も頂いたり、大石田AIRの代表も課題はまだあるが、改善していきIPを活用まで出来ると、更なる文化事業の発展や、アーティストへの仕事の提供にも繋がり地域に興味を持つ人が増える可能性が高い取り組みとなるだろうと評して貰うなどかなりの理解を示してくれる方が増えた。</p>	
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。</p>	<p>⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 体験会という事で、1つ何か成果物が出来たわけではないが、役場・地元住民・ゲストハウス運営者・文化事業団体・劇団など広い分野での理解と協力関係を構築出来た。また視察をかなりの範囲で行き、IP活用の可能性も含めて成果を期待できる種を集めることに成功したように感じる。</p>
<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>取り組みとして進めていけるかの確約は取れなかった。年度末という時期もあり、すでに来年度の予算は組まれたりしているのではその先での取り組みになりそうだという点。また、実際に導入するにしても時間はかかるのもあり担当者など具体的に取り組むメンバーが必要だが、そこも確定するまでには至らなかった。ただ、他地域での導入例で役場からの仕事として協力隊が担当する事があったとの事で、移住者を募る面でも、協力隊が3年任期で取り組む業務として面白いのではと感じた。</p>	
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 体験者全体の意見としては、時間が長かったり初めてするにはハードルが高いという意見は見受けられた。その辺はロジックを活用しつつ簡略化した初心者向けと、宿泊など仲間内で参加しがつり体験する体験者向け宿泊型のコンテンツが用意できると受け入れやすいと感じた。また、廃校や団体などの資源を活用してほしいという意見は多かったかのように感じた。どんな風に関わるかはまだイメージは湧いていないが、何か出来る、活用できるという印象をもって貰ったように分析した。</p>	
<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい</p>	<p>②次年度に予算化を図り推進する 課題もまだいくつかあり、内容も地域に合わせていくことが必要だが参加者全体として、可能性と前向きに協力を得られやすいという流れになっているので予算の部分でも役場の方も含めて相談して確保出来るように動く。そしてコンパクトに行える周遊型をベースに、大石田AIRも公演とまずは絡めれるように進めていく。試験的に宿泊型も検討し、地域の劇団などの演者への仕事を創出し仕事と経験を同時に得られるベースを作っていく。最終的にIP活用で山形出身の漫画家とのコンテンツ作成を目指す。クオリティが重要視される部分もあるのと、準備の時間も必要になるのでそこに向けてスモールでも関係者のレベルアップを目指して取り組めるようにする。</p>
<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>地域の認知向上と観光資源としての確立、他地域の導入におけるロールモデル化を目指す。東北での試みがないのもあり、課題は多いだろうが、率先してパイオニアの立ち位置を選ぶことで、山形全体の魅力や関心を上げていく。アーティストなどの文化芸術事業も交えたりすることで、継続的な仕事の提供と、各アーティストが取り組む、教育・環境への配慮などの活動支援にも繋げられる1つのムーブメントとしても成立させていく。</p>	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

